

平成29年三重県議会定例会

予算決算常任委員会

人事委員会事務局長説明概要

(平成28年度歳入歳出決算)

平成29年10月

人 事 委 員 会

人事委員会関係の平成28年度歳入歳出決算の概要について、ご説明申し上げます。

はじめに、歳入決算額についてご説明申し上げます。

まず、「平成28年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」124頁の第12款 繰入金、第2項 基金繰入金、第1目 基金繰入金のうち、人事委員会関係分については、予算現額、収入済額とも60万円であります。これは、財政調整基金繰入金を職員の人件費に充当したものであります。

134頁の第14款 諸収入、第5項 受託事業収入、第1目 総務関係受託事業収入の公平事務受託事業収入については、予算現額、収入済額とも1万7千円であります。

また、138頁の第8項 雑入、第2目 雑入のうち、人事委員会関係分については、予算現額9万7千円に対し、収入済額が9万7,617円であります。

以上、人事委員会関係分の歳入決算額の合計は、予算現額71万4千円に対し、収入済額が71万4,617円となります。

なお、収入未済はございません。

【歳入決算】

単位：円

款 項 目	予算現額	調定額	収入済額
12 繰入金			
2 基金繰入金			
1 基金繰入金	600,000	600,000	600,000
14 諸収入			
5 受託事業収入			
1 総務関係受託事業収入	17,000	17,000	17,000
8 雑入			
2 雑入	97,000	97,617	97,617
合 計	714,000	714,617	714,617

続きまして、歳出決算額についてご説明申し上げます。

232頁の第2款 総務費、第9項 人事委員会費、第1目 人事委員会費については、予算現額1億1,837万4千円に対し、支出済額は

1億1,728万2,616円、不用額は109万1,384円であります。

支出済額の内訳としましては、人事委員会の開催、事務局職員の人件費等事務局の運営に要した経費1億881万9,170円、給与関係調査に要した経費80万6,065円、各種競争試験等の実施に要した経費751万5,475円、公平審査関係及び労働基準監督業務に要した経費14万1,906円であります。

また、不用額109万1,384円は、主に事務局職員の人件費等事務局の運営に要した経費の執行残であります。

以上、簡単ではございますが、人事委員会関係の平成28年度歳入歳出決算の概要説明を終わります。

なにとぞ、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

【歳出決算】

単位：円

款 項 目	予算現額(A)	支出済額(B)	差引(A-B)
2 総務費			
9 人事委員会費			
1 人事委員会費	118,374,000	117,282,616	1,091,384
合 計	118,374,000	117,282,616	1,091,384

平成28年度

歳入歳出決算補充説明

監査委員事務局

平成28年度歳入歳出決算のうち、監査委員事務局関係につきまして、その概要をご説明申し上げます。

はじめに、歳入決算額についてご説明申し上げます。

まず、「平成28年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」の124頁の第12款 繰入金、第2項 基金繰入金、第1目 基金繰入金のうち、監査委員事務局関係分については、予算現額、収入済額とも120万7千円です。これは、財政調整基金繰入金を職員の人件費に充当したものです。

次に、138頁の第14款 諸収入、第8項 雑入、第2目 雑入のうち、監査委員事務局関係分については、予算現額1万4千円に対し、収入済額が1万4,980円です。

以上、監査委員事務局関係分の歳入決算額の合計は、予算現額122万1千円に対し、収入済額が122万1,980円となります。

なお、収入未済はございません。

【歳入決算】

款 項 目	予算現額	調定額	収入済額
12 繰入金			
2 基金繰入金			
1 基金繰入金	1,207,000	1,207,000	1,207,000
14 諸収入			
8 雑入			
2 雑入	14,000	14,980	14,980
合 計	1,221,000	1,221,980	1,221,980

続きまして、歳出決算額についてご説明申し上げます。

234頁から237頁をご覧ください。

歳出決算額は、第2款 総務費、第10項 監査委員費、第1目 監査委員費のうち、2億2,911万2,500円で、その内訳は、監査委員、事務局職員の人件費、監査業務に要した旅費等の事務費

です。

主な事業内容としては、定期監査（360箇所）及び財政的援助団体等監査（30団体）を行いました。

また、一般会計・特別会計及び企業会計の決算審査並びに健全化判断比率及び資金不足比率等についての審査を行いました。

以上をもちまして、監査委員事務局関係の平成28年度歳入歳出決算の概要説明とさせていただきます。

なにとぞ、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

【歳出決算】

単位：円

款 項 目	予算現額 (A)	支出済額 (B)	差引 (A-B)
2 総務費			
10 監査委員費			
1 監査委員費	230,644,000	229,112,500	1,531,500
合 計	230,644,000	229,112,500	1,531,500

平成28年度

歳入歳出決算補充説明

000 000 000	000 000 000	000 000 000	歳入歳出決算
000 000 000	000 000 000	000 000 000	歳入歳出決算
000 000 000	000 000 000	000 000 000	歳入歳出決算
000 000 000	000 000 000	000 000 000	歳入歳出決算
000 000 000	000 000 000	000 000 000	歳入歳出決算
000 000 000	000 000 000	000 000 000	歳入歳出決算
000 000 000	000 000 000	000 000 000	歳入歳出決算
000 000 000	000 000 000	000 000 000	歳入歳出決算

出 納 局

平成 28 年度歳入歳出決算補充説明

平成 28 年度三重県一般会計歳入歳出決算の出納局関係について、その概要をご説明申し上げます。

【出納局歳入決算概要】

(単位：円)

款 項 目	予算現額	調定額	収入済額
分担金及び負担金 負担金 民生費負担金	13,000	13,012	13,012
財産収入 財産売払収入 物品売払収入	108,000	108,550	108,550
繰入金 特別会計繰入金 他会計繰入金 基金繰入金 基金繰入金	16,500,000 2,340,000	16,500,000 2,340,000	16,500,000 2,340,000
諸収入 県預金利子 県預金利子 雑入 小切手未払資金組入 雑入	4,581,000 33,388,000 6,689,000	5,198,910 34,040,167 22,484,680	5,198,910 34,040,167 22,484,680
出納局関係分 計	63,619,000	80,685,319	80,685,319

まず、歳入についてご説明申し上げます。

お手元の「平成 28 年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」の 40 頁をご覧ください。

第 7 款「分担金及び負担金」第 2 項「負担金」第 1 目「民生費負担金」のうち、出納局関係は、

予算現額 1 万 3,000 円

調定額、収入済額 1 万 3,012 円

となっております。これは熊本地震による職員派遣に係る災害救助費負担金であります。

116 頁の第 10 款「財産収入」第 2 項「財産売払収入」第 2 目「物品売払収入」のうち、出納局関係は、

予算現額 10 万 8,000 円

調定額、収入済額 10 万 8,550 円

となっております。これは、不用物品の売却によるものであります。

124 頁の第 12 款「繰入金」第 1 項「特別会計繰入金」第 1 目「他会計繰入金」のうち、出納局関係は、

予算現額 1,650 万円

調定額、収入済額 1,650 万円

となっております。これは、電気事業会計繰入金を財務会計システムの再構築に要した経費に充当したものであります。

また、同じく 124 頁の第 2 項「基金繰入金」第 1 目「基金繰入金」のうち、出納局関係は、

予算現額 234 万円

調定額、収入済額 234 万円

となっております。これは、財政調整基金繰入金を職員の人件費に充当したものであります。

128 頁の第 14 款「諸収入」第 2 項「県預金利子」第 1 目「県預金利子」のうち、出納局関係は、

予算現額 458 万 1,000 円

調定額、収入済額 519 万 8,910 円

となっております。これは、歳計現金の運用益を出納局の事務費に充当したものであります。

また、138 頁の第 8 項「雑入」第 1 目「小切手未払資金組入」であります。

予算現額 3,338 万 8,000 円

調定額、収入済額 3,404 万 167 円

となっております。これは、自動車税の還付金等で小切手等を振出して一年を経過したものを歳入として組入したものであります。

また、同じく 138 頁の第 2 目「雑入」のうち、出納局関係は、

予算現額 668 万 9,000 円

調定額、収入済額 2,248 万 4,680 円

となっております。これは主に三重県収入証紙の一般証紙売払代金であります。一般証紙売払代金は、販売した証紙代金を各種手数料等の証紙消印実績に応じて振替えた残額であり、収入済額が予算現額を上回りました。

【出納局歳出決算概要】

(単位：円)

款 項 目	予算現額	支出済額
総務費		
総務管理費		
一般管理費	394,615,000	393,281,035
会計管理費	235,436,000	224,976,168
出納局関係分 計	630,051,000	618,257,203

次に、歳出についてご説明申し上げます。

170頁の第2款「総務費」第1項「総務管理費」第1目「一般管理費」のうち、出納局関係は、

予算現額	3億9,461万5,000円
支出済額	3億9,328万1,035円
不用額	133万3,965円

となっております。これは、出納局職員の人件費であります。

また、180頁の第9目「会計管理費」につきましては、

予算現額	2億3,543万6,000円
支出済額	2億2,497万6,168円
不用額	1,045万9,832円

となっております。支出済額の主なものは、財務会計システムの運用及び再構築に要した経費、電子調達システム(物件等)の運用に要した経費、証紙販売手数料、会計事務の検査に要した経費等であります。

以上で歳入歳出決算の説明を終わり、引き続き財産の管理及び処分につきまして、その概要をご説明申し上げます。

地方自治法上、財産は公有財産、物品、債権及び基金の四種類に分類されており、このうち、出納局におきましては基金にかかる現金等を保管・運用しております。

586頁の次から掲げております「財産に関する調書」のうち、13頁から24頁に各基金の状況を記載しておりますが、総括して次表により説明いたします。

【36 基金の状況 総括表】

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
不 動 産	土 地	－ m ²	－ m ²	－ m ²
	建 物	－ m ²	－ m ²	－ m ²
動 産		9,738 枚	－ 枚	9,738 枚
有 価 証 券		14,092,122,781 円	2,887,459,281 円	16,979,582,062 円
現 金		38,456,034,343 円	△8,392,236,891 円	30,063,797,452 円
計		52,548,157,124 円	△5,504,777,610 円	47,043,379,514 円

平成 28 年度決算にかかる 36 基金を合わせた決算年度末現在高は、470 億 4,337 万 9,514 円で、前年度末現在高に比べ、55 億 477 万 7,610 円減少しております。

なお、基金については、确实かつ効率的に運用し、1 億 3,177 万 8,494 円の運用益がございました。

続きまして、平成 28 年度三重県歳入歳出決算審査意見書により、監査委員からご意見をいただきました事項に対する、出納局の取組をご説明申し上げます。

金品亡失（損傷）につきましては、各所属への依命通知や各種研修会において注意喚起するとともに、原則として県の損害額が 10 万円以上で、かつ職員の不注意の度合いが相当高いものについて、所属長への文書指導を行い、講じた措置について報告を求める等金品の管理意識の向上に努めています。

財産管理等につきましては、物品購入利活用書を活用した高額物品の適切な取得・管理、三年毎の悉皆調査による遊休物品の現状確認等、平成 28 年 3 月に改定した「みえ物品利活用方針」に基づく取組を進め、物品全般について適切な取得・管理・利活用・処分を図っています。

資金の運用につきましては、より正確に資金の需給を把握するとともに、債券による長期運用を拡大する等、安全かつ効率的な資金運用を行ってまいります。

財務事務につきましては、会計事務にかかる検査、各所属からの相談対応、会計事務職員を対象とした各種研修等を実施しているほか、会計事務職員向けのチェックリストやマニュアルを作成し、活用を働きかける等、不適切な会計事務処理の未然防止や会計事務職員の人材育成に取り組んでいます。

以上をもちまして、平成 28 年度決算並びに財産についての説明を終わります。
なにとぞ、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年度

歳入歳出決算補充説明

議会事務局

平成 28 年度歳入歳出決算補充説明

平成 28 年度三重県一般会計歳入歳出決算の議会事務局関係について、その概要をご説明申し上げます。

【議会事務局 歳入決算概要】

(単位:円)

	予算現額	調定額	収入済額
(款) 繰入金			
(項) 基金繰入金			
(目) 基金繰入金	4,496,000	4,496,000	4,496,000
(款) 諸収入			
(項) 雑入			
(目) 雑入	25,719,000	25,976,263	25,976,263
弁償金	259,000	259,472	259,472
(款) 県債			
(項) 県債			
(目) 議会債	19,000,000	17,000,000	17,000,000
議会事務局関係分 計	49,474,000	47,731,735	47,731,735

まず、歳入についてご説明申し上げます。

お手元の「平成 28 年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」の 124 頁をご覧ください。

第 12 款「繰入金」第 2 項「基金繰入金」第 1 目「基金繰入金」のうち、議会事務局関係分は、

 予算現額 449 万 6,000 円
 調定額 449 万 6,000 円
 収入済額 449 万 6,000 円

となっております。これは、議員の期末手当の改正及び事務局職員の勤勉手当の改正等に伴う予算額の増額に対応するため、財政調整基金から繰り入れられたものであります。

次に、138 頁の第 14 款「諸収入」第 8 項「雑入」第 2 目「雑入」のうち、議会事務局関係分は、

 予算現額 2,571 万 9,000 円
 調定額 2,597 万 6,263 円
 収入済額 2,597 万 6,263 円

となっております。収入済額のうち主なものは、平成 27 年度に交付した政務活動費にかかる交付額と実績額との差額を返還いただいたものであります。

また、142 頁の第 5 目「弁償金」のうち、議会事務局関係分は、

予算現額 25 万 9,000 円
調定額 25 万 9,472 円
収入済額 25 万 9,472 円

となっております。これは、公務上の職員の交通事故において、事故の相手方から受け入れた弁償金であります。

次に、164 頁の第 15 款「県債」第 1 項「県債」第 13 目「議会債」は、

予算現額 1,900 万円
調定額 1,700 万円
収入済額 1,700 万円

となっております。これは、「504 議会運営委員会室」及び「601 特別委員会室」のマイク設備改修工事に充当したものであります。

【議会事務局 歳出決算概要】

(単位:円)

	予算現額	支出済額	不用額
(款) 議会費			
(項) 議会費			
(目) 議会費	1,547,891,000	1,533,757,800	14,133,200
議会事務局関係分 計	1,547,891,000	1,533,757,800	14,133,200

次に、歳出について申し上げます。

166 頁の第 1 款「議会費」第 1 項「議会費」第 1 目「議会費」は、

予算現額 15 億 4,789 万 1,000 円
支出済額 15 億 3,375 万 7,800 円
不用額 1,413 万 3,200 円

となっております。

支出済額の内訳は、

議員報酬等に要した経費 7 億 9,057 万 6,786 円
議会運営に要した経費 4 億 1,383 万 7,491 円
事務局職員の人件費に要した経費 3 億 2,934 万 3,523 円

であります。

以上をもちまして、議会事務局関係の平成 28 年度三重県一般会計歳入歳出決算の概要説明を終わらせていただきます。

なにとぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。